

日本文化の基層を育んだ年中行事・有職故実など  
古代・中世の歴史・文学・文化研究に必携

# 尊経閣善本影印集成

前田育徳会尊経閣文庫編

## 第7輯 平安鎌倉儀式書 全10冊

完結!

※朱のある書目は影印本文2色刷  
※第48冊「雲図鈔」は高精細カラー版



【第7輯全10冊】セット定価(本体234,000円+税) ISBN978-4-8406-2297-4(セット)

### 第7輯 第10回配本【5月末刊!】

## 第50冊 春除日抄 京官除目次第 他

●B5判上製・貼函入・416頁・カラー口絵4頁・定価(本体28,000円+税) ISBN978-4-8406-2350-6

除目に関する儀式書3点を収録、詳細な解説を付す

春除日抄 天文11年(1542)写 2巻 【解説】田島公 【紙背文書解説】末柄豊

京官除目次第 1巻 【解説】尾上陽介

県召除日記 元禄3年(1690)写 1冊 【解説】尾上陽介

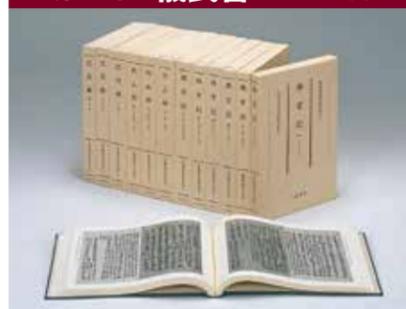


八木書店  
YAGI BOOK STORE LTD.

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8  
●TEL 03-3291-2961 [営業] 03-3291-2969 [編集] ●FAX 03-3291-6300  
●E-mail pub@books-yagi.co.jp ●Web https://catalogue.books-yagi.co.jp/

### 尊経閣善本影印集成 既刊各輯ご案内【全て分売いたします】

#### 第1輯 儀式書 全12冊



ISBN4-8406-2291-4  
(セット品切)

西宮記 平安末鎌倉初写(重文)・大永五年写  
北山抄 平安末鎌倉初写(国宝)・永正年中写  
江次第 明応七年写・室町期写

- |        |             |
|--------|-------------|
| ①西宮記 一 | 本体 17,476 円 |
| ②西宮記 二 | 本体 17,476 円 |
| ③西宮記 三 | 本体 19,417 円 |
| ④西宮記 四 | 本体 21,359 円 |
| ⑤西宮記 五 | 本体 17,476 円 |
| ⑥西宮記 六 | 本体 26,214 円 |
| ⑦北山抄 一 | (品切)        |
| ⑧北山抄 二 | 本体 24,272 円 |
| ⑨北山抄 三 | 本体 21,359 円 |
| ⑩江次第 一 | 本体 29,126 円 |
| ⑪江次第 二 | 本体 21,359 円 |
| ⑫江次第 三 | 本体 17,476 円 |

#### 第2輯 類書 全5冊



ISBN4-8406-2292-2  
セット定価(本体125,000円+税)

秘府略 平安中期写 卷八六八(国宝)・附卷八六四  
二中歴 鎌倉末期写(重文)  
掌中歴 室町末期写 残欠  
拾芥抄 天正十六・十七年写

- |            |             |
|------------|-------------|
| ⑬秘府略       | 本体 19,000 円 |
| ⑭二中歴 一     | 本体 22,000 円 |
| ⑮二中歴 二     | 本体 28,000 円 |
| ⑯二中歴 三・掌中歴 | 本体 25,000 円 |
| ⑰拾芥抄       | 本体 31,000 円 |

#### 第3輯 古辞書 全8冊

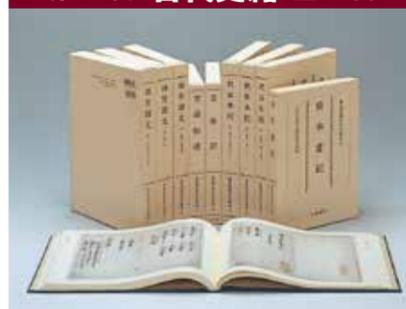


ISBN4-8406-2293-0  
(セット品切)

色葉字類抄 鎌倉初写三巻本(重文)・永禄八年写二巻本  
節用集 室町期写 黒本本  
字鏡集 応永二十三年・二十四年写 二十巻本  
温故知新書 室町末期写  
童蒙頌韻 弘治二年写

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ⑱色葉字類抄 一    | (品切)        |
| ⑲色葉字類抄 二    | 本体 30,000 円 |
| ⑳節用集        | 本体 20,000 円 |
| ㉑字鏡集 一      | 本体 30,000 円 |
| ㉒字鏡集 二      | 本体 30,000 円 |
| ㉓字鏡集 三      | 本体 30,000 円 |
| ㉔字鏡集 四      | 本体 30,000 円 |
| ㉕温故知新書・童蒙頌韻 | 本体 28,000 円 |

#### 第4輯 古代史籍 全9冊

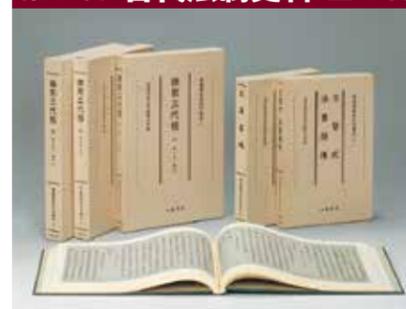


ISBN4-8406-2294-9  
セット定価(本体260,000円+税)

日本書紀 平安後期写(国宝)  
釈日本紀 正安三年・四年写(重文)  
古事記 室町末期写  
古語拾遺 鎌倉末南北朝初写(重文)  
類聚国史 平安末写古本(国宝)附撰写本・明応本・大永本

- |         |             |
|---------|-------------|
| ⑳日本書紀   | 本体 20,000 円 |
| ㉑釈日本紀 一 | 本体 30,000 円 |
| ㉒釈日本紀 二 | 本体 30,000 円 |
| ㉓釈日本紀 三 | 本体 30,000 円 |
| ㉔古事記    | 本体 26,000 円 |
| ㉕古語拾遺   | 本体 25,000 円 |
| ㉖類聚国史 一 | 本体 33,000 円 |
| ㉗類聚国史 二 | 本体 33,000 円 |
| ㉘類聚国史 三 | 本体 33,000 円 |

#### 第5輯 古代法制史料 全5冊



ISBN4-8406-2295-7  
セット定価(本体149,000円+税)

交替式 室町後期写  
法曹類林 嘉元二年写(重文)  
政事要略 鎌倉初期写(重文)  
類聚三代格 享禄本 二十一巻

- |           |             |
|-----------|-------------|
| ㉙交替式・法曹類林 | 本体 24,000 円 |
| ㉚政事要略     | 本体 26,000 円 |
| ㉛類聚三代格 一  | 本体 33,000 円 |
| ㉜類聚三代格 二  | 本体 33,000 円 |
| ㉝類聚三代格 三  | 本体 33,000 円 |

#### 第6輯 古代説話 全6冊



ISBN978-4-8406-2296-5  
セット定価(本体138,000円+税)

日本靈異記 仁和寺心蓮院本 嘉禄二年写(重文)  
三宝絵 真字本 正徳五年写(醍醐寺蔵本の写し)  
日本往生極楽記 鎌倉前期写(重文)  
新猿楽記 弘安本・古鈔本・康永本(重文)  
三宝感応要略録 高山寺本 寿永三年写(重文)  
江談抄 寛元三年写(重文)  
中外抄 下巻「久安四年記」建暦二年写(重文)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ㉞日本靈異記       | 本体 18,000 円 |
| ㉟三宝絵・日本往生極楽記 | 本体 26,000 円 |
| ㊱新猿楽記        | 本体 25,000 円 |
| ㊲三宝感応要略録     | 本体 26,000 円 |
| ㊳江談抄         | 本体 21,000 円 |
| ㊴中外抄         | 本体 22,000 円 |

### 【続刊】第8輯 平安古記録 全11冊 2016年6月刊行開始!

●第46冊 (2010年8月刊) B5・176頁・本体一八、〇〇〇円  
**内裏式** 一冊 室町後期写

【解説】西本昌弘  
**日本で最初の勅撰儀式書**

『内裏式』は、嵯峨天皇(七六八～八四二)の命により藤原冬嗣(七七五～八二六)らが弘仁十二年(八三三)に奏上した現存最古の勅撰儀式書。『内裏式』の古写本には鎌倉期写の宮内庁書陵部所蔵九条家本二種(いずれも中巻のみ)があり、本冊に附載する。尊経閣文庫本は室町期の写本ながら、『内裏式』の序文の大部分がこの写本によって初めて判明するようになったことでも知られる重要な写本である。

●第47冊 (2013年5月刊) B5・320頁・本体二六、〇〇〇円

1 **本朝月令要文**

2 **小野宮故実旧例**

3 **年中行事秘抄**

【解説】吉岡眞之  
**年中行事系の儀式書**

平安中期の惟宗公方撰の『本朝月令』の抄出『本朝月令要文』と、仁和元年(八八五)に関白藤原基経(八三六～八九二)が献上したという年中行事御障子文の注釈本の一つとされる『年中行事秘抄』、および小野宮流故実を創始した藤原実頼(九〇〇～九七〇)の『小野宮故実旧例』を収める。『本朝月令』の中世に遡る古写本は、宮内庁書陵部所蔵九条家本の他は、『本朝月令要文』と題された尊経閣文庫所蔵金沢文庫本があるにすぎない。この写本は建武年間に称名寺の学僧一条坊全海が『本朝月令』の必要部分を抄出書写し、所持した手摺本と考えられている。『年中行事秘抄』の写本は、延応元年(二二二九)系本と建武元年(二三三四)系本の二つに大別でき、尊経閣文庫本は延応元年系の古写本であり、戦前に『尊経閣叢刊』の一つとして複製刊行された貴重書である。

●第48冊 (2012年1月刊) A4横・122頁・本体二二、〇〇〇円

**雲図鈔**

【解説】小倉慈司  
**高精度オールカラーで影印**

鳥羽天皇(一一〇三～一一五六)の頃に内裏で行われた正月朔日の四方拝から十二月晦日の追儺に至るまでの主要年中行事を、彩色図入りで説明した儀式書。



雲図鈔

●第51冊 (2013年8月刊) B5・336頁・本体二四、〇〇〇円  
**禁秘御抄** 一冊 室町後期写

【解説】詫間直樹  
**順徳天皇が著した儀式書**

順徳天皇(一一九七～一二四二)が、宮中の故実・作法を中心に殿舎のかたちや有様、更には恒例の毎日の儀式作法、装束、神事・仏事の次第をはじめとする様々な内容を記した『禁秘御抄』(禁秘抄)を収める。

●第52冊 (2012年8月刊) B5・338頁・本体二六、〇〇〇円

**局中宝**

【解説】遠藤珠紀  
**伝存唯一の孤本**

別名『師光抄』と記されるように、中原師光(一一〇四～一二六五)が撰輯した局務家(大外記の家)のための故実書で、引用される先例には撰撰・院政期の日記等の多くの逸文が引かれる。尊経閣文庫本は伝存唯一の孤本。

●第53冊 (2012年12月刊) B5・200頁・本体一九、〇〇〇円

1 **夕拝備急至要抄**

2 **参議要抄**

【解説】1石田実洋／2新井重行

●第54冊 (2013年4月刊) B5・162頁・本体一八、〇〇〇円

1 **羽林要秘抄**

2 **上卿簡要抄**

【解説】1高田義人／2石田実洋

**コンパクトなマニュアル故実書**

第53冊・第54冊には、『夕拝備急至要抄』『参議要抄』『羽林要秘抄』『上卿簡要抄』を収める。「(至)要抄」「要秘抄」「簡要抄」とは最も大事なことをコンパクトに記した儀式書であり、『夕拝』(蔵人)、参議、『羽林』(近衛の中將・少將)、『上卿』(朝廷の諸行事・会議の執行責任者となった中納言以上の公卿)のためのマニュアルを書いた故実書である。

●第55冊 (2015年11月刊) B5・320頁・本体二八、〇〇〇円

1 **消息礼事及書礼事**

2 **大臣二人為尊者儀**

3 **大要抄**

4 **大内抄**

5 **暇服事**

【解説】1川島孝一／2宮崎康充／3徳仁親王・木村真美子／4中込律子／5稲田奈津子



大内抄

**消息や書状の形式、任大臣関係、内裏・大内裏の殿舎・諸門・車立事など**

本冊には、これまでのジャンルに収めきれない比較的短い儀式書を収載。消息や書状の書式を示す『消息礼事及書礼事』、任大臣に関する儀式書である『大臣二人為尊者儀』、内裏や大内裏の殿舎・諸門・車立事などに関する故実を示す『大要抄』『大内抄』、および近親者の喪に際しての勘例を引用する『暇服事』の計5書目。

●第49冊 (2011年9月刊) B5・360頁・本体二五、〇〇〇円

1 **無題号記録**

2 **春玉秘抄**

【解説】田島公

**除目・叙位に関する儀式書**  
 第49冊・第50冊には、除目・叙位に関する儀式書を収載する。

第49冊には、後三条天皇(一〇三四～一〇七三)の儀式書である『院御書』であることが判明した『無題号記録』と、後三条天皇の孫・源有仁(一一〇三～一一四七)撰の『春次第』を治承二年(一一七八)に徳大寺実定(一一三九～一一九二)が改編した『春玉秘抄』を収める。『春玉秘抄』は三条西家本を前田綱紀が書写させた精巧な透写本(模写本)である。三条西家本は戦前まで存在したが、一九四七年十月の京都での古典籍大市会で反町茂雄氏が出品しているのを最後に、所在不明となっている。その三条西家本を偲ぶ縁としても本書は貴重である。源有仁の儀式書には後三条天皇の『院御書』や白河天皇(一一〇五三～一一二九)の『本書』を引用しており、天皇の儀式作法を考える上でも重要な儀式書である。

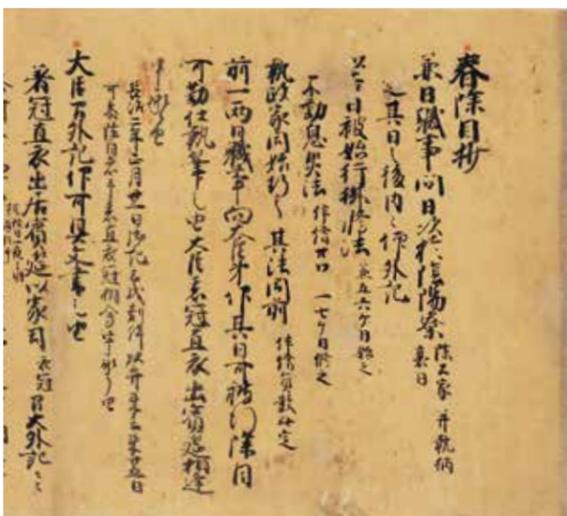
●第50冊 (2016年5月刊) B5・416頁・本体二八、〇〇〇円

1 **春除目抄**

2 **京官除目次第**

3 **県召除目記**

【解説】1田島公・末柄豊(紙背解説)／2・3尾上陽介



春除目抄

第50冊所収の『春除目抄』『県召除目記』は、春に行われた国司など外官の任命に関する県召除目に関する儀式書。一方『京官除目次第』は、秋に行われた京官(平安宮勤務の役人)を任命した除目に関する儀式書である。



内裏式